

伝えたい思いがあります

八百津小学校6年生への3つの質問

Q1

どんな気持ちをこめて演じていますか

- ・ユダヤの人々がどんなに苦しんでいたのか、その当時の場面を考えながら演じています。(井筒ゆいさん)
- ・千畝さんの勇気ある決断をほこりに思い、たくさんの人に知ってほしいと思いつながら演じています。(星野優真さん)
- ・自分が本場にその場において、ビザがないと死んでしまう、という気持ちを込めて演じています。(リバーモア恵伝さん)
- ・ナチスドイツに国を奪われてしまつて、つらく苦しい思いで演じます。(瀬瀬大翔さん)

Q2

観に来てくださるお客さまに

どんなことを伝えたいですか

- ・ユダヤの人々が、その当時どれだけつらかったのか、苦しかったのかを伝えたいです。とくに、下級生にも当時のことが分かるように伝えたいです。(佐藤あき美さん)
- ・私たちが学習している人道精神がとても大切なものであることと、仲間を思いやる心を伝えたい。(都筑華暖さん)
- ・ユダヤの人々にとつて、発給されたビザがどれほど大切なものなのか、そのことでユダヤの人々がどうなるのかを伝えたいです。(田中壮さん)
- ・千畝さんみたいに、たくさんの方の命がすくえなくても、一人ひとりが少しでもだれかのために行動することができると伝えたい。(瀬瀬愛奈さん)
- ・千畝さんがつないでくれた、たくさんの方の命があります。そんな千畝さんのこうせきや思いやりをお客さんみんなに伝えたいです。(安藤ひなたさん)

Q3

杉原千畝さんの行いについて、

どのように感じますか

- ・命のきけんがあつたかもしれないのに、人をたすけていたところがすばらしいと思います。私にできるか分かりません。ほんとうにすごいことです。(臼田紗彩さん)
- ・千畝さんは、自分の安全をぎせいにしてまで6千人の命をすくいました。人としての生き方を、わたしもほこりに思っています。(山内玲佳さん)
- ・僕は、千畝さんのように自分や家族の命が危険にさらされていたら、ビザは出せないと思います。この決断はとてもすごいことだと思えます。(表田蒼大さん)
- ・差別されたユダヤの人々のために、命をかけて、家族が危なくても、勇気ある決断をしたところが、とてもすばらしいと思いました。私は人を思う気持ちを大切に、生きていきたい。(林美桜さん)
- ・千畝さんは、自分をぎせいにしてもユダヤの人々を救った人。これから、ぼくは人権を大切にしていきたい。(渡邊隆仁さん)



写真提供 外務省 外交史料館